

教育学研究科・大学院先取履修の履修条件について

- 教育学部の4年生以上であること
- 「各専攻共通選択科目」は、全教育学部生が履修可能
- 「各専攻の専門選択科目」は、当該学科の学生のみ履修可能とする。例えば、国語教育専攻の授業科目については国語国文学科の学生のみ履修可能
- 各専攻で定める履修申請条件は以下の表中記載のとおりとする

専攻名	科目申請条件
学校教育専攻	特になし。但し、学部生に対する特別の配慮はしない
国語教育専攻	① 3年次終了時点で、卒業算入単位数が84単位以上であること ② 3年次終了時点で、専門科目の平均点(推薦入試の基準)が80点以上であること
英語教育専攻	TOEFLについて、iBT68点、PBT520点を満たしていることが望ましい
社会科教育専攻	特になし
数学教育専攻	特になし

- 各専攻で定める対象科目は以下の表中記載のとおりとする

【専門選択科目】

専攻名	対象科目
学校教育専攻	「教育学特論 B」、「教育史特論 A」、「教育哲学特論 B」、「教育内容・方法特論 A」、「学校経営学特論 B」、「比較教育学特論 A」、「教育行財政特論 B」、「初等教育学特論 1A、1B、2B」、「発達心理学特論 A、B」、「臨床心理学特論 A、B」、「教育評価・測定特論 A、B」、「障害・神経心理学特論 A、B」、「学校心理学特論 A、B」、「教育社会学特論 B」、「社会教育学特論 1A、2A、3B」
国語教育専攻	「国語科教育特論 1～4」、「日本語教育特論 3、4」、「日本語学特論 3～6」、「国文学特論 1～8(古典文学)」、「国文学特論 9～12(近代文学)」、「中国古典研究 1、2」、「国文学特殊研究 1、2」、「文献研究 1、2」
英語教育専攻	「英語科教育特論 II、III」、「英語科教育特殊講義」、「英語学特論 I、II、VI」、「言語学特論」、「英語表現特殊講義」、「英文学特論 I」、「英米文学特殊講義」
社会科教育専攻	「社会科教育特論 I、II」、「歴史学特論 I、II(西洋史)」、「歴史学特論 VI、VII(東洋史)」、「歴史学特論 IV、V、VIII(日本史)」、「地理学特論 II(人文地理)」、「政治学特論 I(行政学)」、「政治学特論 II(政治思想)」、「政治学特論 III(政治制度)」、「経済学特論 I(経済理論)」、「経済学特論 III(企業経済学)」、「社会学特論 I(都市社会学)」、「社会学特論 II(視覚社会学)」、「メディア・コミュニケーション学特論 I、II」
数学教育専攻	「数学科教育特論 I、II、III」、「解析学特論 I」

【各専攻共通選択科目】

専攻名	対象科目
学校教育専攻	「人間形成論」、「教授・学習論」、「生徒・生活指導論」、「学校教育法規」、「教師論」、「初等学習指導論」、「初等科学教育論」、「初等統計学 A・B」、「特別支援教育の理論と精度」、「発達障害論 A」、「学校カウンセリング A・B」、「障害教育論」、「少年司法と教育」、「心理言語学 A・B」
国語教育専攻	-
英語教育専攻	「比較文学」、「言語学研究」
社会科教育専攻	「文化史研究」、「環境論」、「地域研究 I」、「地域研究 II」、「比較憲法学」
数学教育専攻	-

■ 諸注意

- ・ 16単位を上限とします。
- ・ 随意科目扱いとし、卒業所定単位には算入されません。また、年間履修制限単位数にも含まれません。
- ・ 既に登録決定となっている科目と曜日時限が重なった場合は、登録を認められません。
- ・ 秋学期開講科目についても春学期1次科目登録期間中に履修申請を行います。
- ・ 教育学部との合併科目を先取り履修科目として登録することはできません。登録した場合、教育学部科目として取り扱い、その科目区分の卒業所定単位に算入され、年間履修制限単位数にも含まれます。
- ・ 「大学院授業科目の先取り履修科目」として、成績通知メールに記載します。
- ・ 先取り履修で修得した単位は16単位を上限に修了単位へ振り替えることができます。但し、単位修得後3年後以降に教育学研究科へ入学した場合は振り替えの対象外となります。